

熊本の明日を拓く未来創造企業100の戦略

世界の一流メーカーが認める 生産エンジニアリングメーカー

平田機工(株)



平田耕也代表取締役会長(左)と
米田康三代表取締役社長(右)

profile

ひらた・やすなり 1928年生まれ。46年、前身の平田車向創業。51年平田機工設立。77年社長就任。同社を世界的な生産エンジニアリングメーカーに育て上げた。熊本経済同友会代表幹事、熊本県工業連合会会長などを歴任。

よねだ・こうそう 1948年生まれ。72年東京大学教養学部卒、住友銀行入行。77年エール大学大学院経済学修士課程修了。2001年同行執行役員本店営業第二部長、03年大和証券SMBCプリンシパル・インベストメンツ顧問。05年6月平田機工社長就任

世界市場でビジネス展開

「熊本発の企業で、世界を舞台にビジネスを展開する最右翼は？」と問われたならば、迷わず「平田機工」と答えなければならないだろう。

平田機工(Hirata:本社・東京都品川区、本部・熊本郡植木町、米田康三社長)は、生産エンジニアリングに特化し、世界で認められた研究開発力に裏打ちされた技術・商品と、自社工場を有し、部品1個から生



熊本工場全景(熊本県熊本郡植木町)

産ラインまでを自社生産しうる高度な製造能力、そして世界各地に配した拠点が可能にするきめ細かなサポート体制で、世界の一流メーカーを満足させるトータルソリューションを提供する生産エンジニアリングメーカーである。

Hirataは、自動車、液晶テレビなどに用いられるFPD(フラットパネルディスプレイ)、半導体、産業用ロボット、家電を中心に、顧客の要望に応じた様々な生産設備の製造・販売を手掛けている「工場をつくる工場」。

自動車分野では、エンジンやトランスミッションなどのパワートレインと呼ばれる主要部品をはじめ、それらの制御用コンピュータ、各種センサ、車載用電子機器、空調用エアコンプレッサ、ABSブレーキモジュールなど多岐にわたり、最近ではハイブリッドカー向けのモーターや駆動用インバータの自動組み立てなど、

最先端の部品の生産設備にも寄与している。

一流メーカーを唸らせた 平田イズムの完全主義

HirataはGM(米国ゼネラルモーターズ)の生産ラインを手掛けているが、世界の自動車メーカーから高く評価されているのが、Hirata独自の基本コンセプトであり、同社が特許を取得しているACS(アセンブリ・セル・システム=システム内の



納入前検査のため完全状態に組み立てられたGM社向けの自動車生産ライン(2003年8月、熊本東工場)



熊本東工場(熊本県熊本郡植木町)

個々の機械を一体化、共通化、標準化し高い性能とコストパフォーマンスを可能にするシステム)。このACSをコアに、業界の常識を覆すような短期間でのエンジニアリング・設計・製造・据え付け・立ち上げを実現している。

Hirataのモノ造りのポリシーを端的に現しているのが、実際の生産ラインの完全組立・検査後の納入だ。厳しい競争を繰り広げる自動車メーカーにとって、生産ラインの不具合は許されない。新規導入ラインは、ユニットや部品の状態で工場に持ち込み、現場で初めて組み立てるのが一般的。だが同社では総延長が1km以上にも及ぶラインを自社工場で完全に組み立て、メーカー立会いの下で検査を実施する。正常な稼動を最も確実な方法で検証するHirata独自のプロセスは、GM幹部をして「こんなエンジニアリング会社は世界にHirataしかいないだろう」と言わしめた強い信頼感を生んでいる。



FPD(フラットパネルディスプレイ)関連設備
ガラス基板搬送ロボット

海外に10拠点を配置 評価高いグローバル対応力

需要拡大で新商品投入が続くFPD(フラットパネルディスプレイ)関連の生産設備も同社の成長分野だ。スピンレス方式によるレジスト塗布装置「ヘッドコーター」を開発、世代を追って大型化してゆくガラス基板への迅速な対応を可能にしており、顧客から高い評価を得ている。

最近では半導体製造装置メーカーの東京エレクトロン九州と共同で、「第8世代」と呼ばれる大型液晶ディスプレイの製造装置を世界で初めて開発した。薄型大画面テレビのTFT液晶ディスプレイの材料となるガラス基板に、薬剤を塗り回路パターンを焼き付ける中核装置で、Hirataが得意とする薬剤を均一に塗布する技術で、世界最大となる縦2,160mm×横2,460mmのガラス基板に対応したものだ。

この他に半導体関連の生産設備では、プロセス間及びウエハ搬送用ロボットなどの搬送装置がある。また最先端の生産現場で培ってきた高クリーン・真空対応・精密位置制御の技術を駆使した産業用ロボット、家電やPC周辺機器などの生産システムや医療・理化学関連機器の分野で着実に実績を積み上げてきた。

同社では、海外にHCA(アメリカ)、HCE(イギリス)、HSL(シンガポール)、HET(タイ)、HRG(ドイツ)、SHM(中国)、HSS(同)、HEM(メキシコ)など10拠点を配置、世界40カ国に及ぶ納入先に対するサポートやメンテナンス、製品のアップデート、新規案件の相談などに対応。世界に広げたネット



半導体関連設備
ウエハ搬送真空ロボット

ワークが可能にするHirataのグローバルな対応力は、国内外の顧客から高い評価を獲得している。

人材採用を強化

Hirataでは更なる飛躍を支える人材の確保に今後一層力を入れたいと考えた。世界40カ国へ生産システムを送り出し、世界の一流メーカーが自社生産ラインの組み上がる熊本を訪れる。同社の工場入口に国旗掲揚のポールが設置されているのもそのためだ。GMからの訪問客は日の丸と星条旗で迎えらる。国内に留まらず世界を舞台にした事業展開には、技術系スタッフは言うまでもなく、経営企画、総務、経理など経営スタッフの強化も不可欠と、Hirataでは意欲的な採用活動を進めている。



社内研修の様子。Hirataでは優秀な人材の確保と教育に力を入れている



企業DATA

所在地	本社: 〒142-0041 東京都品川区戸越3丁目9-20 本部: 〒861-0198 熊本県熊本郡植木町一木111
T E L	096-272-0555
F A X	096-272-7901
設立	1951年12月29日
年商	377億円(H18年3月期)
代表者	代表取締役会長: 平田耕也 代表取締役社長: 米田康三
従業員	1,013人(単体)1,426人(グループ)H18年3月現在
関連会社	太平興産、ヒラタソフトウエアテクノロジー、HCAほか(国内4社、海外10社)
事業内容	各種生産ラインシステム、産業用ロボット及び物流関連機器等の製造・販売